夕凪

原民喜

青空文庫

老婆は台所の隅の火鉢に依掛って肉を焼いた。彼女の額も首も汗に滲み、まるで自分が焼かれてゐるやうな気がした。四つになる児が火のついたやうに傍で泣いた。口を四角に開けて、両手で足をさすりながら「駅に行かう、駅へつれて行け。」と強請んだ。

台所の高窓には午後五時の青空と白熱の光を放つ松の樹があった。その松では油蝉が啼いた。肉はじりじりと金網の上で微かな音を立てた。胃から血を吐いて三日苦しんで死んだ、彼女の夫の記憶が、あの時の物凄い光景が、今も視凝めてゐる箸のさきの、灰の上に灰のやうに静かに蹲(うづくま)ってゐる。彼女は火鉢の火気のなかに身を委ねて、今うとうとと仮睡みかけた。

突然、何かただならぬ物音が彼女の意識を甦らせた。と、今迄泣いてゐた子供も一寸泣き歇んだ様子であった。一睡、鋭い、奇異なものの気配が、空気に漲って裂けた。彼女がぼんやり怪しんでゐるところへ、表からどやどやと子供達が馳せつけて来た。

「大変だ、火薬庫が爆発した。」

「ほら、あそこに煙が立つ。」

子供達は晴やかに喚き立てる。老婆は箸を執って、燃えてゐる方の肉を裏返した。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日初版発行
入力：蒋龍
校正：伊藤時也
2013年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

夕凪

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/